

【目標】 「多様性を認め合い、やさしさあふれる輝くまちに」

基本方針【1】: 未来に向けたまちづくり

目標指標	指 標	現行値 (2023年度)	目標値 (2029年度)	2025	2026	2027	2028	2029
	多文化子育て交流機会の回数	16回	19回	15回				
	日本語指導助手の言語数と人数	4言語・12人	5言語・15人	4言語・12人				
	「こぎつね教室」の年間入室者数	64人	90人	70人				

実施施策(1) 子育てのサポート

○妊婦や就学前の子どもとその保護者の支援【乳幼児期】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R7年度実績	R8年度計画	関係課等
				2025	2026	2027	2028	2029			
1	外国語版の子育て情報ハンドブックの作成	市の子育てサポートの一覧表を外国人市民にも理解できるよう多言語で作成します。妊娠期からの子育て情報を網羅した情報誌等を多言語で作成します。	継続	→	→	→	→	→	妊娠から出産後の子育てに役立つ情報の一覧を配布し、情報提供をした。	引き続き子育てに役立つ情報を精査するとともに、保健センターとも共有し、新たな情報も入れながら、多言語化し配布できるようにする。	子育て支援課
2	健診・予防接種等の多言語対応	窓口での相談業務や健診、予防接種等を多言語で対応します。また、問診票・案内チラシ等の多言語化を行います。	継続	→	→	→	→	→	音声翻訳機ポCKETークを設置。乳幼児健診会場138回/年にポルトガル語通訳を配置。窓口相談票、問診票、案内通知文、啓発チラシを配布。新たに転入案内チラシを配布。	音声翻訳機ポCKETークを設置。乳幼児健診会場135回/年にポルトガル語通訳を配置。窓口相談票、問診票、案内通知文、啓発チラシ、転入チラシを多言語化して配布。	保健センター
3	育児・発達相談の多言語対応	育児・発達相談等を多言語で対応します。また、問診票・案内チラシ等の多言語化を行います。	継続	→	→	→	→	→	必要時にポルトガル語通訳を配置。	継続して実施する。	保健センター
4	多文化子育て交流機会の提供	日本の子育てに関する制度や母子保健等、外国人市民が日本で子育てをしていくに当たって必要な情報提供を行い、日本人親子との交流の場を設けます。	継続	→	→	→	→	→	〈子育て支援課〉 「ママも1歳おめでとう誕生会」について多言語でチラシを作成。情報提供する。 〈市民協働国際課〉 イオンモール豊川内で「多文化子育てイベント」を実施した(R8.3.7)。第1部「親子でチャレンジ！ベトナムのダンスを踊ってみよう！」では、現地のダンスやクイズ、じゃんけん大会をとおして、日本人と外国人の親子が交流できた。第2部「世界の遊びや絵本を楽しもう！」では、ベトナム語の絵本の読み聞かせと、ブラジルやオーストラリアで人気の遊びをとおして、日本人と外国人親子が交流できた。また、子育てに関する情報提供も多言語で行った。	〈子育て支援課〉 引き続き誕生会についての情報を多言語化して配布する。 〈市民協働国際課〉 引き続き、外国人親子が参加できるような異文化交流イベントの実施を図り、日本人親子と交流できる機会を提供する。また、子育てに関する情報提供も多言語で行っていく。	子育て支援課 市民協働国際課
5	保育園関連資料等の多言語版の作成	保育園入園説明会資料や園だより等を多言語で作成します。入園説明会等に必要に応じて通訳を派遣します。	拡充	実施	→	→	→	→	入園のご案内を5か国語で作成し、多言語化を推進した。	継続して実施する。	保育課 市民協働国際課
6	プレスクール(就学前児童の日本語指導等)事業の実施	「こぎつね教室」において、小学校入学前の幼児に日本語の指導や学校のルールを学ぶ「プレスクール」を行います。	継続	→	→	→	→	→	〈市民協働国際課〉 就学前の児童を対象に1月～4月に2組(各12回)に分け親子プレスクールを開催。親子で学ぶことで、より充実した指導を行うことができた。プレスクールに参加した親子向けに、学校の持ち物や一日の流れを寸劇で紹介する「日本の学校はどんなところ？」と題した授業を行い、小学校入学の支援を図った。 〈学校教育課〉 要請のあった小学校の入学説明会に日本語指導助手を派遣し、円滑な就学支援を行った。	〈市民協働国際課〉 引き続き、小学校や保育園等と連携して就学前健診時などでプレスクールの周知をすることで、より多くの児童を受入れ、日本語の指導を行うとともに、就学を支援する。 〈学校教育課〉 令和7年度と同様に、要請のあった小学校の入学説明会に日本語指導助手を派遣する。	市民協働国際課 学校教育課

○児童生徒とその保護者の支援【子ども期】											
No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R7年度実績	R8年度計画	関係課等
				2025	2026	2027	2028	2029			
7	円滑な小学校入学・通学のための支援(学校生活のルール・教育制度の周知等)	外国人児童の多く在籍する小学校での入学説明会(学校生活のルール・教育制度の周知等)に日本語指導助手を派遣します。	継続	→	→	→	→	→	要請のあった小学校の入学説明会に日本語指導助手を派遣し、円滑な就学支援を行った。	令和7年度と同様に、要請のあった小学校の入学説明会に日本語指導助手を派遣する。	学校教育課
8	放課後児童クラブの多言語対応の充実	外国人児童の多く在籍する放課後児童クラブに、多言語対応可能な支援員等を継続して配置します。 また、外国人児童の多く在籍する児童クラブの入所関係書類を多言語で作成し、説明会も多言語で行います。	継続	→	→	→	→	→	児童クラブの入所関係書類を多言語化するとともに、緊急のお知らせ等も多言語でメール配信等実施した。また、タブレット通訳サービスも利用した。	引き続き児童クラブに関する各種お知らせ、メール等の多言語化や通訳サービスの利用に取り組む。	子育て支援課 市民協働国際課
9	学校教育相談の実施	日本語指導助手による相談のほか、ブラジル人心理士によるポルトガル語での心理相談を行います。	継続	→	→	→	→	→	専門の実施機関による検査を13人実施した。	専門の実施機関による検査を12人実施する予定。	学校教育課

実施施策(2) 教育環境の整備											
○児童生徒への学習支援や不登校・不就学児童生徒等の就学支援【子ども期】											
No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R7年度実績	R8年度計画	関係課等
				2025	2026	2027	2028	2029			
10	外国人児童生徒の状況の把握	外国人児童生徒数や進路状況等を毎年度調査し、把握します。	継続	→	→	→	→	→	外国人児童生徒数について、年2回調査を実施し、実態把握に努めた。令和6年度卒業生の進路状況についても調査を行った。	令和7年度同様に、2つの調査を実施し、実態把握をしていく。	学校教育課
11	小・中学校の日本語指導助手の充実	ポルトガル語以外の日本語指導助手を増員し、日本語ができずに小中学校の学習や生活に適応できない児童生徒のサポートや指導等を行います。	拡充	実施	→	→	→	→	増員はできていない。	引き続き増員の予算要求をする。	学校教育課
12	外国人児童生徒教育担当者の指導力の向上	市内全小中学校に配置されている外国人児童生徒教育担当者に対する研修会を実施し、指導力の向上を図ります。	継続	→	→	→	→	→	外国人児童生徒等教育担当者に対して、外国人児童生徒教育講座の伝達講習を行った。	外国人児童生徒等教育担当者に外国人児童生徒教育講座の内容を伝達講習する。併せて日本語教育適応学級担当者に効果的な日本語指導について研修会を実施する。	学校教育課
13	日本語教育コーディネーターの配置	外国人児童生徒の多く在籍する小中学校に日本語教育コーディネーターを派遣し、外国人児童生徒教育担当者や日本語指導助手の指導等サポートを検討します。	新規	実施	→	→	→	→	日本語教育コーディネーターの配置はできていない。	引き続き配置の予算要求をする。	学校教育課
14 重点	不登校・不就学の外国人児童生徒の就学支援(こぎつね教室)の充実	「こぎつね教室」の日本語指導員を増員し、送迎や指導体制の見直しを行い、増加する日本語が未熟で小中学校に不登校や不就学となっている外国人児童生徒の公立小中学校へのスムーズな転入を図ります。	拡充	実施	→	→	→	→	日本語指導員を1名増員及び主任日本語指導員を創設し、指導レベルの向上を行った。また、中学生を対象に卒業後のアフターフォローとしてオンライン授業を実施し、継続して指導することで、日本語の習得を促進した。	引き続き、受入体制や指導内容を充実させ、児童生徒の日本語の習得を促進し、就学を支援する。オンライン授業の活用方法を見直し、中学生向けに受験対策として面接練習を行う。	市民協働国際課 学校教育課
15	外国人児童生徒夏休み学習会の実施	外国人児童生徒の希望者に対し、夏休み期間を利用し、日本語指導助手と日本語教育相談員が学習会を行います。	継続	→	→	→	→	→	公共施設を会場とし、希望者に市内小学校担当教諭及び日本語指導助手のサポートのもと、学習会を実施した。	外国人児童生徒に対し、公共施設を利用した学習会を実施する。	学校教育課
16	外国人児童生徒の学習支援(PECLA)	国際交流協会の実施する「PECLA(ペクラ)」において、南米の子ども等に母語や日本語指導、学習の支援を行います。	継続	→	→	→	→	→	学習者数は14名でしたが、母語や日本語指導、教科学習支援を行うことができた。AIAの民間企業ボランティアマッチングに応募したが、反応がなかった。また、県から紹介された寄付金代理収納サービス「スマ募」に登録したが、寄付がなかった。	学校の教科学習の補習支援と親子で参加できる点の宣伝を強化し学習者の増加に努める。また、現在欠員となっているスペイン語の講師の募集を行う。	国際交流協会

○生徒への進路に関する支援【青年期】											
No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R7年度実績	R8年度計画	関係課等
				2025	2026	2027	2028	2029			
17	外国人生徒やその保護者を対象にした進路説明会の開催や進路に関する情報の提供	外国人生徒の多く在籍する小中学校での進路説明会に日本語指導助手を派遣します。また、進路に関する情報や奨学金についての情報を多言語で提供します。	継続	→	→	→	→	→	要請のあった学校の進路説明会及び進学懇談会に日本語指導助手を派遣した。また、外国人児童生徒を対象とした進路説明会を開催。具体的な進路の説明を行う機会を設けた。	令和7年度同様、要請のあった学校の進路説明会及び進学懇談会に日本語指導助手を派遣する。また、令和8年度も、学校教育課主催の進路説明会を8月に開催する。	学校教育課

第4次豊川市多文化共生推進プラン(2025－2029)事業実績報告書

基本方針【2】:住みやすいまちづくり

目標指標	指 標	現行値 (2023年度)	目標値 (2029年度)	2025	2026	2027	2028	2029
	「日本語教室」等の受講者数	309人	480人	218人				
	資源・ごみ分別アプリ(外国語)のダウンロード数	752件	1,000件	1,284件				
	多言語情報提供配信システム(とよかわ 安心 メール)の登録件数	837件	1,200件	858件				
	外国人相談対応に対する満足度	99.2%	99.5%	98.8%				

実施施策(1) 円滑なコミュニケーション環境の実現

○日本語習得のための支援【青年期・成人期】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R7年度実績	R8年度計画	関係課等
				2025	2026	2027	2028	2029			
18 重点	外国人市民に対する日本語学習機会の提供	国際交流協会が実施する「日本語教室」等、外国人市民に対する日本語学習機会の提供を行います。実用的な対話型教室を中心に充実を図ります。	拡充	実施	→	→	→	→	学習者は昨年度に比べ57名減の218名となった。入門クラスからN3クラスまで多様なニーズに応え、学習機会の提供を図れた。	継続して実施する。	市民協働国際課 国際交流協会
19	日本語ボランティア養成講座等の実施	日本語ボランティア養成講座やスキルアップ研修、若者ボランティア体験講座等を行い、新規のボランティア指導員の育成やボランティア指導員のレベルアップを図ります。	継続	→	→	→	→	→	〈国際交流協会〉 9/28日本語ボランティア養成講座「やさしい日本語で日本語を教えてみよう」を実施。日本語教室でボランティアを始めたい方に、やさしい日本語で日本語を教えるコツを伝えました。(多文化共生リソースセンター 東海 土井佳彦氏、参加者18名) 〈市民協働国際課〉 こぎつね教室にて若者ボランティア体験講座として、学生ボランティアを受け入れた。	〈国際交流協会〉 R8は日本語ボランティアスキルアップ研修を愛知県国際交流協会との共催で実施予定。昨年度に引き続き、ワールドフェスティバル2026にスタッフとして従事する若者ボランティアを募集するとともに、豊川高校・御津あおば高校に個別にボランティア募集への協力を依頼し、実地に活動する機会を提供する。 〈市民協働国際課〉 継続して実施する。	市民協働国際課 国際交流協会
20	日本語能力検定試験の周知や受験費補助等の支援	外国人児童生徒や日本語教室受講者等の外国人市民の日本語能力の向上を図るため、補助制度の周知を図り活用者数をふやします。	拡充	検討	実施	→	→	→	〈市民協働国際課〉 外国語版広報や市SNSにて日本語能力試験受験費補助についての周知に加え、介護保険関係事業者が集まる会議にて補助制度の案内をし、補助活用者を増やした。 〈国際交流協会〉 協会の日本語教室学習者と指導にあたるボランティアへ受講費補助についてチラシを配布して周知した。	〈市民協働国際課〉 引き続き、試験や受験費補助についての周知を行い、受験費の補助を行う。 〈国際交流協会〉 継続して実施する。	市民協働国際課 国際交流協会
21	日本語習得や日本語指導員養成のための研修等の情報提供	国や県等が実施する日本語習得や、日本語ボランティア養成のための研修等の情報提供を行います。	継続	→	→	→	→	→	〈市民協働国際課〉 国や県等が実施する講座や研修等の情報のチラシやポスターを窓口等に設置した他、ホームページやFacebookで情報提供をした。 〈国際交流協会〉 県、AIA、TNN実施の研修チラシを国際交流協会日本語教育支援ボランティアへ配布し、参加の声掛けと情報提供を行った。	〈市民協働国際課〉 継続して実施する。 〈国際交流協会〉 継続して実施する。	市民協働国際課 国際交流協会

○日本の生活ルール等の理解促進【全世代】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R7年度実績	R8年度計画	関係課等
				2025	2026	2027	2028	2029			
22	多言語による転入者等への「オリエンテーションセット」の配布	転入外国人市民等へ、庁舎案内や行政手続き、生活ルール等をお知らせする「オリエンテーションセット」を多言語で作成し、配布します。	継続	→	→	→	→	→	ポルトガル語・スペイン語・英語・中国語・ベトナム語・インドネシア語のオリエンテーションセットを作成し、市民課窓口で外国人転入者に配布した。	内容を必要な情報に更新を図りながら、継続して実施する。	市民課 市民協働国際課

23	多言語行政情報動画の配信	転入外国人市民等が市で生活するうえで必要なルール等を解説する多言語行政情報動画を窓口で流すほか、二次元コードで広く周知します。	継続	→	→	→	→	→	継続して、外国人相談窓口で動画をモニターで流して紹介するとともに、二次元バーコードから簡単に動画にアクセスできる「動画紹介カード」を窓口等やイベントで配布した。市民課窓口で転入者に配布する、言語別のオリエンテーションセットの中に加え、豊川に転入する外国人市民全員に渡るよう工夫した。	継続して周知を図り、活用していく。	市民協働国際課 関係各課
24	外国人市民へのごみの出し方や分別ルールの啓発	外国人市民に対し、ごみカレンダー及び資源・ごみ分別アプリにより、ごみの出し方や分別ルールについて啓発します。転入者に渡すオリエンテーションセットの中に市指定のごみ袋の見本を入れて示します。	拡充	実施	→	→	→	→	外国人市民に対してごみ分別カレンダー、ごみ分別アプリの周知に努めた。また、転入者に渡すオリエンテーションセット(No.22)の中に市指定のごみ袋の見本を入れて示した。	継続して実施し、外国人市民に対して、ごみ分別の周知に努める。	清掃事業課
25	市営住宅入居者への日本の共同生活ルールの説明	市営住宅に入居する外国人市民に対し、共同生活においての守らなければならないルールを多言語で案内します。	継続	→	→	→	→	→	市営住宅新規入居者に対し、入居のしおり(日本語、ポルトガル語、ベトナム語対応)を配布。入居後、生活におけるマナーやルールについて他の入居者から苦情があれば、翻訳した文書にて対応した。	現在実施している取り組みを継続させていく。	建築課
26	外国人市民への交通安全・防犯講習会等の実施	外国人市民に対し、交通安全・防犯講話や啓発を行います。	継続	→	→	→	→	→	外国人市民に対し、交通安全・防犯の講話や教室を実施した。	外国人市民に対し、交通安全・防犯講話や啓発を実施する。	人権生活安全課
27 重点	外国人市民への日本の生活ルール等に関する講演会等の実施	外国人市民に対し、日本の生活ルール等に関する理解促進のための講演会やイベント等を市や警察等と連携して行います。	継続	→	→	→	→	→	〈国際交流協会〉 国際交流協会主催のワールドフェスティバル2025では、警察のブースにて警察が交通ルール等の話をして、外国人市民へ日本の生活ルール等の啓発活動を実施。また、同協会日本語スピーチコンテストでは警察官による防犯や交通安全の講話を実施。同協会日本語教室では、日頃より日本の生活ルールや文化への認識を深める学びを実施している。 〈市民協働国際課〉 豊川警察署と連携し、こぎつね教室の児童生徒を対象に交通安全教室を実施した。	〈国際交流協会〉 継続して実施する。 〈市民協働国際課〉 引き続き、交通安全教室を実施するとともに、警察署見学を実施し、交通ルールや防犯について学ぶ機会を設ける。	国際交流協会 市民協働国際課

〇ICT等を活用した多言語等による情報提供【全世代】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R7年度実績	R8年度計画	関係課等
				2025	2026	2027	2028	2029			
28	テレビ電話通訳システムを使った通訳	タブレットを活用したオペレーターによる同時通訳を行い、窓口における外国人市民の通訳支援を行います。	継続	→	→	→	→	→	17言語対応可能な電話通訳サービスを活用し、多言語での情報提供や相談を行った。	引き続き、実施する。	市民協働国際課 豊川市民病院
29 重点	外国語版ホームページの充実	外国語版の市ホームページの自動翻訳機能を活用し、市が発信する情報を多言語で発信します。二次元コードを活用し、広く周知します。	拡充	実施	→	→	→	→	〈市民協働国際課〉 自動翻訳機能を活用し、タイムリーな情報発信を図った。 〈国際交流協会〉 ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、ベトナム語、タガログ語のホームページを作成し、外国人住民に役立つ内容の作成に努めた。	〈市民協働国際課〉 内容の充実を図りながら、外国人市民の必要とする情報を提供する。 〈国際交流協会〉 引き続き更なる充実に努める。	市民協働国際課 国際交流協会
30 重点	多言語情報提供配信システムを活用した情報配信の充実	多言語情報提供配信システム(とよかわ安心メール)を活用した行政情報等の配信、登録者の増加を図ります。自動翻訳機能により言語数を増やし、タイムリーな情報発信を行います。	拡充	実施	→	→	→	→	自動翻訳機能により言語数が8言語となり、多言語での発信を行うことができた。外国人相談窓口で安心メールの説明を行い登録を促進するとともに、ホームページやFacebook、広報などで周知を図った。	引き続き外国人相談窓口やホームページ・Facebook・広報などで情報を周知し、登録者の増加を図る。	市民協働国際課
31	SNSを活用した多言語による情報配信の充実	外国語版の市公式Facebookの登録者の増加を図ります。	継続	→	→	→	→	→	多言語行政情報動画の紹介カードの裏面に、各言語のFacebookの二次元バーコードを印刷し、登録者の増加を図るとともに、タイムリーな情報をほぼ毎日配信した。	引き続き、タイムリーな情報提供に努めるとともに、登録者の増加を図る。	市民協働国際課

32	各課窓口等での多言語等による行政情報等の提供	市役所各課窓口等の書類や啓発チラシ、案内文等の行政情報を多言語で作成します。また、多言語以外に「やさしい日本語」を用いて行政情報等の提供に努めます。	継続	→	→	→	→	→	〈市民課〉 ・観光庁が監修している外国人向け災害時情報提供アプリ「Safe tips」のQRコード付きの案内文を、市民協働国際課に多言語化していただき、転入外国人市民へ配布するオリエンテーションセットの一つに入れた。 ・国外から転入される外国人住民向けに多言語化したチェックリストを活用し、国外転入の確認事項の簡略化ができたとともに、正確な外国人住民登録事務を行えた。 〈国際交流協会〉 日本語教室の実施要項、日本語スピーチコンテストの応募用紙、ワールドフェスティバルのチラシ等は多言語で作成し、機関紙Weは「やさしい日本語」とふりがなをつけることで、外国人会員への当協会活動への理解と協力を促した。	〈市民課〉 引き続き、本市に滞在する外国人住民にとって有益と考えられる行政情報の提供や行政事務に努める。 〈国際交流協会〉 引き続き更なる充実に努める。	市民協働国際課 関係各課 国際交流協会 他
33	外国人市民に対する観光資源のPR	外国人市民を多く雇用する企業等と連携し、市の観光資源を紹介する等のPRを行い、永住化や、訪日外国人旅行者の増加を図ります。 観光案内に音声翻訳機を活用し、多言語での観光案内をします。 二次元コードを使った観光誘致カードを使い多言語対応の誘客を促進します。	継続	→	→	→	→	→	英語・中国語（簡体・繁体）、韓国語、タイ語、イタリア語、スペイン語、フランス語、ベトナム語対応の観光情報ホームページサービスを観光誘致カードを通じて提供。	外国人向け観光情報PRを継続して実施。	商工観光課 観光協会 他
34	市役所窓口での手続きの負担軽減	住民窓口各課へ書かない窓口システムを導入し、各種届出書の手書きによる記入の廃止及び記入箇所の削減をすることで、窓口における負担軽減を図ります。	新規	実施	→	→	→	→	書かない窓口を導入し、手書きによる記入箇所を削減するなど、窓口における負担軽減を図った。	継続して実施する。	情報政策課 市役所各窓口
35 重点	ホームページを外国人市民向けにわかりやすく発信	ホームページに、「外国人」サイトをつくり、外国人市民が生活していく上で役立つ情報やアプリをとりだしやすくします。	新規	実施	→	→	→	→	各課が作成した外国人が生活するうえで関係する情報を選定し「災害」「ごみ」等のカテゴリ別に分けた「がいこくじんのかたへ」ページを作成し、情報を取り出しやすいホームページの整備に努めた。	定期的に掲載内容を見直し、各種情報の充実に図りながら、外国人市民の必要とする情報を提供する。	市民協働国際課

実施施策（2）生活環境の整備

○通訳・相談体制の整備 【全世代】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R7年度実績	R8年度計画	関係課等
				2025	2026	2027	2028	2029			
36 重点	「外国人相談窓口」の充実	外国人市民が生活に関する情報や相談場所に適切・迅速に到達できるよう、多言語で情報提供や相談を行うワンストップ型の「外国人相談窓口」を市民協働国際課に設置し、外国人市民の状況等に応じて言語を増やすなど充実に図ります。	拡充	検討	実施	→	→	→	ポルトガル語・スペイン語・英語・中国語・ベトナム語の通訳を配置するとともに、17言語対応可能な電話通訳サービスを活用し、多言語での情報提供や相談を行った。また、窓口の充実に図るため、相談窓口でアンケートを昨年度に引き続き実施した。	多言語での情報提供や相談を行うとともに、引き続きアンケートも実施し、窓口の充実に図る。	市民協働国際課
37	言語別通訳者案内表示	市役所各窓口で、多言語での対応が可能な職員に言語別の案内バッジを配布し、外国人市民が相談しやすい体制の整備を検討します。	新規	実施	→	→	→	→	8言語計41個のバッジを配布した。	引き続き、多言語対応が可能な職員に案内バッジを配布し、外国人市民が相談しやすい体制の整備に努める。	市民協働国際課 市役所各窓口
38	通訳職員の配置	収納課、保健センター、豊川市民病院、国際交流協会に通訳職員を配置し、外国人市民の相談等に対する体制を整えます。	継続	→	→	→	→	→	〈収納課〉 ポルトガル語の通訳1名を配置。 〈保健センター〉 赤ちゃん訪問24日/年、乳幼児健診会場138日/年にポルトガル語通訳を配置し、相談体制を整えた。 〈患者サポートセンター〉 ポルトガル語・スペイン語の通訳職員を常時配置し、診察等で通訳を実施した。 通訳体制向上のため、医療通訳に特化した電話通訳及びタブレット端末通訳が可能なサービスの利用を実施している。 〈国際交流協会〉 スペイン語・英語・ポルトガル語の通訳を配置し、関係機関と連携して外国人市民の相談に対応した。	〈収納課〉 継続して配置する。 〈保健センター〉 赤ちゃん訪問24日/年、乳幼児健診会場135日/年にポルトガル語通訳を配置し、相談体制を整える。 〈患者サポートセンター〉 体制を維持し、継続して実施する。 〈国際交流協会〉 継続して実施する。	収納課 保健センター 患者サポートセンター 国際交流協会
39	通訳職員の派遣	市民協働国際課の通訳職員を必要に応じて市役所各課等の関係する機関等へ派遣します。	継続	→	→	→	→	→	市役所各課等からの要請により、関係機関等へ通訳を派遣した。	必要に応じて派遣する。	市民協働国際課

○税、医療、保健、介護、福祉支援【成人期・老年期】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R7年度実績	R8年度計画	関係課等
				2025	2026	2027	2028	2029			
40	外国人税務相談会の実施	税務手続きが円滑に行えるよう外国人市民のための多言語による税務相談会を国際交流協会が市や東海税理士会と連携して開催します。	継続	→	→	→	→	→	令和8年2月15日(日)に豊川市勤労福祉会館にて、外国人を対象に多言語対応の税務相談会を開催し、25名の外国人市民が参加した。	相談会を開催予定(実施時期未定)	市民税課 国際交流協会 東海税理士会
41	外国人市民に対する社会保障制度の周知	公的医療保険や介護保険、年金等の福祉に係る社会保障制度への理解を深めるため、多言語による周知を行います。	継続	→	→	→	→	→	〈障害福祉課〉 福祉サービスの申請から利用までの流れについての説明資料を多言語化し周知を図った。 〈保険年金課〉 通知物をポルトガル語・英語・中国語・ベトナム語など必要に応じた言語で作成し、多言語による周知を図った。 〈介護高齢課〉 東三河広域連合で作成した多言語に対応した介護保険パンフレットをホームページに掲載するとともに、窓口で活用した。	〈障害福祉課〉 継続して実施する。 〈保険年金課〉 引き続き多言語での周知を図る。 〈介護高齢課〉 継続して実施する。	障害福祉課 保険年金課 介護高齢課
42	あいち医療通訳システムの周知及び活用	愛知県の医療通訳システムを積極的に医療機関等に周知し、活用を促すことにより、外国人市民が安心して医療を受けられる環境を整えます。	継続	→	→	→	→	→	〈保健センター〉 あいち医療通訳システムの利用は有料であるため、現時点ではスマートフォンのアプリやポケットクなどの通訳機で対応した。 〈市民協働国際課〉 県が実施するあいち医療通訳システムの説明会について、医師会を通して、周知を図った。 〈患者サポートセンター〉 医療通訳に特化した電話通訳とタブレット端末通訳サービスと併せて、翻訳業務について、あいち医療通訳システムを活用している。状況に応じて最適なシステムを使用することで安心で円滑な医療の提供に務める。	〈保健センター〉 市内医療機関等に周知できる機会を検討していく。 〈市民協働国際課〉 引き続き、活用してもらえるよう周知を図る。 〈患者サポートセンター〉 継続して実施する。	保健センター 市民協働国際課 患者サポートセンター 他

○災害時の体制整備【全世代】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R7年度実績	R8年度計画	関係課等
				2025	2026	2027	2028	2029			
43	外国人市民に対する防災講習会等の実施	外国人市民に対する防災講習会等を実施し、防災意識を高めます。	継続	→	→	→	→	→	〈危機管理課〉 実施なし。 〈国際交流協会〉 11/16防災スキルアップ研修「防災ってお互いさま！」を、豊川VC、危機管理課、市民協働国際課の協力により実施し、ローリングストックや非常持ち出し袋について学び、非常食作りを行った。参加した外国人市民や関係者の防災意識を高めた。(参加者25名)	〈危機管理課〉 各種講座に対する外国人市民および通訳ボランティア参加の啓発を図る。 〈国際交流協会〉 より多くの外国人市民に参加してもらえるよう内容や周知方法を工夫した上で、継続して実施する。	危機管理課 国際交流協会 他
44	災害時通訳ボランティアの登録・養成の促進	災害時に日本語がわからない外国人被災者への支援を行うため、災害時通訳ボランティアの募集・登録を促進し、養成講座等を国際交流協会が市や社会福祉協議会等と連携して災害の知識を広めるよう充実させます。	拡充	実施	→	→	→	→	〈危機管理課〉 国際交流協会主催「防災ってお互いさま！」の開催に協力し、外国人市民および通訳ボランティアに対する啓発を実施 〈国際交流協会〉 11/16防災スキルアップ研修「防災ってお互いさま！」を、豊川VC、危機管理課、市民協働国際課の協力により実施。通訳ボランティアは参加した外国籍市民への通訳をすることでスキルアップを図った。(参加者25名)	〈危機管理課〉 各種講座に対する外国人市民および通訳ボランティア参加の啓発を図る。 〈国際交流協会〉 通訳ボランティアのスキルアップにとってより有効な方法を検討した上で、継続して実施する。	市民協働国際課 危機管理課 国際交流協会 他
45	避難所等の多言語対応	外国人市民の多く住む地域の避難所等に、災害時通訳ボランティアを派遣したり、コミュニケーション支援ボードや多言語表示シートを設置したりする等、日本語がわからない外国人市民への支援を行います。	継続	→	→	→	→	→	〈危機管理課〉 各避難所に対し、「コミュニケーション支援ボード」を配備(平成29年度～) 〈市民協働国際課〉 災害時に避難所や市役所窓口等で多言語で電話通訳対応できる「災害時対応多言語コールセンター」の業務委託をし、言葉の面でサポートできる体制を整えた。	〈危機管理課〉 市HP等を通してコミュニケーション支援ボードの啓発を継続する。 〈市民協働国際課〉 引き続き「災害時対応多言語コールセンター」の業務委託を実施する。	危機管理課 市民協働国際課 国際交流協会 他

○労働環境の整備【成人期】											
No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R7年度実績	R8年度計画	関係課等
				2025	2026	2027	2028	2029			
46 重点	関係機関との就労や労働環境の整備に関する情報共有と連携強化	公共職業安定所、商工会議所等の関係機関と外国人市民の就労に関する情報を交換し、共有を図ります。また労働環境の整備に関する情報の共有も図ります。	拡充	→	→	→	→	→	〈農務課〉 実施なし 〈商工観光課〉 関係機関から外国人市民の就労に関する情報提供を受けた。	〈農務課〉 必要に応じて、農業協同組合に国等からの関連情報を提供する。 〈商工観光課〉 引き続き、関係機関と外国人の就労に関する情報の共有を図る。	農務課 商工観光課 公共職業安定所 商工会議所 農業協同組合他
47	外国人市民に対する職業訓練等の情報提供及び就労に関する相談	国や県等が実施する外国人市民に対する職業訓練や就労につながる講座や研修等の情報を多言語により周知し、就労に関する相談等を行います。	継続	→	→	→	→	→	〈農務課〉 実施なし 〈商工観光課〉 公的機関等から配布された外国人向けの就労関係のチラシ等を窓口に設置した。	〈農務課〉 必要に応じて、農業協同組合に国等からの関連情報を提供する。 〈商工観光課〉 引き続き、公的機関等から配布された外国人向けの就労関係のチラシ等を窓口に設置し、周知を図る。	農務課 商工観光課 公共職業安定所 商工会議所 農業協同組合他
48	外国人市民に対する起業支援	外国人市民の起業に関する相談や情報提供を多言語化し、支援を行います。	拡充	実施	→	→	→	→	市民協働国際課の通訳職員と協力して、外国人市民の起業に関する相談を実施した。また、ポルトガル語対応の創業支援パンフレットを作成した。	引き続き、市民協働国際課の通訳職員と協力して窓口での相談支援の充実を図る。	商工観光課 公共職業安定所 商工会議所 他

第4次豊川市多文化共生推進プラン(2025－2029)事業実績報告書

基本方針【3】:活気にあふれるまちづくり

目標指標	指 標	現行値 (2023年度)	目標値 (2029年度)	2025	2026	2027	2028	2029	
	やさしい日本語について知っている人の割合	29.2%	40.0%	-					(市民協働国際課)
	国際理解・国際交流を目的とした講演会等の参加者数	881人	1,500人	417人					(市民協働国際課、国際交流協会)
	外国人リーダーの登録者数	—	6人	4人					(市民協働国際課)
	外国人が町内会活動に参加している町内会の割合	—	30.0%	-					(市民協働国際課)

実施施策(1) 多文化共生の意識づくり

○多文化共生・国際理解の意識啓発【全世代】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R7年度実績	R8年度計画	関係課等
				2025	2026	2027	2028	2029			
49	日本人市民と外国人市民との交流事業の実施	外国人市民と日本人市民との交流を図るため、ワールドフェスティバル等の交流事業を行います。	継続	→	→	→	→	→	12/7国際交流協会主催の「ワールドフェスティバル2025」を昨年に引き続きイオンモール豊川で開催し、日本人と外国人総勢2400人の参加があった。海外の舞踊、楽器演奏、グルメ、市内グローバル企業、パティッシュ体験、アラビア書道体験、折紙コーナー、ちびっこ広場等の実施により、国籍を問わずいろいろな人同士の交流を促せた。	引き続きイオンモール豊川にて「ワールドフェスティバル2026」の実施を計画。	市民協働国際課 国際交流協会
50	国際感覚豊かな多文化共生意識を持った日本人市民の育成	小中学生等を含む幅広い層の市民に対し多文化共生に関する出前講座や国際理解講演会等を実施し、国際感覚豊かな多文化共生意識を持つ日本人市民の育成を図ります。	継続	→	→	→	→	→	〈市民協働国際課〉 愛知県の多文化共生月間(11月)に合わせて、中央図書館の児童書コーナーに、異文化理解のための絵本や児童書を展示するとともに、外国語の絵本を紹介した。 12月中旬から2月中旬まで、同図書館で「多文化共生ってなんだろう?」をテーマとし、ポスターや関係図書等の展示を行い、多文化共生及び国際理解の意識啓発を行った。 また、小学校にて行った出前講座では、市内の外国人人口・割合・国籍等の状況を紹介した後、絵本を用いながら、外国の文化(挨拶・服装・食事等)を紹介し、多文化共生及び国際理解の意識啓発を行った。 〈国際交流協会〉 6/29国際理解講演会「ペルーアマゾンの森林保全を通じて得たもの～アルトマヨの森の住民との共生～」(JICA地球環境部ジュニア専門員毛笠貴博氏、参加者73名) 6/15「とよかわ音楽の日2025」弦楽演奏、アンデス音楽、ギター演奏を実施。(中央図書館・勤労福祉会館参加者200名) 5/16～6/18「音楽の日」展中央図書館と当協会フランス部会の共催で演奏会に関連するお勧めのフランス文学を案内するコラボ展示を実施。 9/21文化講座「フィリピンってどんな国」(チャルメイン・デラクルース氏、参加者80名)、2/1「スーダンってどんな国」(モハメド アミール氏、参加者64名)を開催し、国際感覚と多文化共生意識を併せ持った日本人市民の育成を図った。	〈市民協働国際課〉 中央図書館と連携して、多文化共生や姉妹都市に関連した図書等の展示を行うことで、市民の多文化共生・国際理解の意識啓発を図る。 〈国際交流協会〉 6/21「音楽の日」、9/13文化講座ニュージーランドってどんな国」(ウィルソンジョーダン氏)、2/7「インドってどんな国」(講師未定)を実施予定。	市民協働国際課 学校教育課 国際交流協会

51	外国語講座の実施	英語・中国語・スペイン語等の外国語講座を行い、国際理解につながる学習機会の充実を図ります。	継続	→	→	→	→	→	英会話6講座(受講者110名)、中国語2講座(受講者12名)、スペイン語1講座(受講者7名)を実施した。	従来の英語・中国語・スペイン語の講座に加え、フランス語・多言語体験・児童向け英会話教室の実施を計画	国際交流協会
52	人権尊重意識の啓発	人権・男女共同参画講演会の開催や各種イベント等での啓発活動、小中学校での道德等の授業や学校教育を通じた人権教育等により、市民の人権尊重意識の啓発を図ります。	継続	→	→	→	→	→	R8.3.7にロバート キャンベルさんを講師に迎え、人権・男女共同参画講演会を開催した。その他、人権週間やこさかい葵まつりの啓発の活用により、市民の人権尊重の啓発を図った。	人権に関する講演会や講座の開催や各種イベント等での啓発活動により、市民の人権尊重意識の啓発を図る。	人権生活安全課 学校教育課
53	姉妹都市・友好都市等諸外国との交流事業の実施	姉妹都市キューパティーノ市と友好都市無錫市新呉区との中学生使節団の相互派遣や市民使節団の相互派遣等での諸外国の方とのホームステイや学校体験等を通じた交流を行い、市民の多文化共生・国際理解の意識啓発を図ります。	継続	→	→	→	→	→	〈市民協働国際課〉 昨年度に引き続き、R7.6.26～R7.7.2にキューパティーノ市中学生使節団19名(引率3名、中学生16名)の受入を実施した。同年10.2～10.10に豊川市中学生使節団19名(引率3名、中学生16名)をキューパティーノ市へ派遣した。 両市で相互派遣を行い、中学生が互いの文化を経験することで、より深い国際理解の意識啓発を図った。 また、キューパティーノ市、無錫市新呉区それぞれと小中学生等の美術作品の交換を行い、2月に子ども作品展として桜ヶ丘ミュージアムにて展示し、多くの市民に来場してもらい、芸術を通じた異文化理解を図った。	〈市民協働国際課〉 継続して実施する。	市民協働国際課 学校教育課 国際交流協会
									〈国際交流協会〉 6/27キューパティーノ市中学生使節団来訪時、当協会キューパティーノ部会員が歓迎セレモニーの受付やレクリエーションを実施。手作りのお土産を贈呈した。参加者10名。 9/20平和公園にてキューパティーノ部会員が「ベルリンギング返礼動画」を撮影し、平和を祈念するメッセージを送った。参加者12名	〈国際交流協会〉 継続して実施する。	

○外国人市民の意見反映【成人期】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R7年度実績	R8年度計画	関係課等
				2025	2026	2027	2028	2029			
54	外国人市民の意見を聴く機会の創出	外国人市民アンケート調査等の実施や、市役所の会議等における外国人市民の委員への登用に努め、国際交流協会のイベント等で外国人市民との意見交換ができる場を設ける等、外国人市民の抱える問題や課題等を把握する機会を創出します。	継続	→	→	→	→	→	〈市民協働国際課〉 とよかわ外国人キーパーソンを4名登録し、初めてとなるミーティングを1回開催した。	〈市民協働国際課〉 引き続き外国人キーパーソンを中心に集まり、意見交換ができる場を設置していく。	市民協働国際課 国際交流協会 他
									〈国際交流協会〉 「ざっくばらんに話そう！」から「ワールド交流広場」に名称を変更。7年度は子育て世代の外国籍市民や国際結婚の参加者らが、子育てについて意見や情報交換をした。2/28実施。参加者5組15名	〈国際交流協会〉 毎年テーマを変えながら実施予定	

○やさしい日本語の普及啓発【全世代】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R7年度実績	R8年度計画	関係課等
				2025	2026	2027	2028	2029			
55 重点	やさしい日本語の活用啓発	「やさしい日本語」の実践的な活用を促すため、市職員に対する研修や小中学校への出前講座やチラシによる啓発を行います。市民に対し、出前講座等を通して、やさしい日本語に関する情報の周知や活用を促し、市民の多文化共生意識の啓発を図ります。	拡充	実施	→	→	→	→	〈市民協働国際課〉 前年度に引き続き、「やさしい日本語職員研修」を市職員に対して行った。前年度までは外部講師による研修だったが、より一層、市のニーズに即した内容とするため、今年度は国際係職員が講師を務めての研修とし、45名の職員が受講した。	〈市民協働国際課〉 引き続き、職員研修、出前講座を実施して「やさしい日本語」の啓発を図る。	市民協働国際課 国際交流協会 他
									「やさしい日本語出前講座」は、18団体、651名が受講した。今年度は、児童クラブ、特別支援学校、町内会に加え、初めて企業や保育園の職員を対象として講座を開催することができた。	〈国際交流協会〉 日本語ボランティア養成講座と日本語ボランティアスキルアップ研修を相互に隔年実施していくこととしており、R8は講座の予定はないが、R9に実施を計画する。	
									〈国際交流協会〉 9/28日本語ボランティア養成講座「やさしい日本語で日本語を教えてみよう」を実施。日本語教室でボランティアを始めたい方に、やさしい日本語で日本語を教えるコツを伝えました。(多文化共生リソースセンター 東海 土井佳彦氏、参加者18名)		

実施施策(2) 地域社会での活躍促進

○地域での交流や地域社会への参加促進【成人期】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R7年度実績	R8年度計画	関係課等
				2025	2026	2027	2028	2029			
56	外国人市民の地域社会活動への参加促進	町内会等の地域や企業等の事業者の協力を得て、多言語で外国人市民に町内会の役割や活動を紹介する機会を設け、町内会への加入や地域社会への参加促進を図ります。	継続	→	→	→	→	→	市営住宅新規入居者に対し、住宅の鍵を渡す際に、町内会についての説明を受けるよう、市民協働国際課へ案内している。	現在実施している取り組みを継続する	市民協働国際課 建築課 連区長会 公共職業安定所 商工会議所 農業協同組合 他
57	地域や企業等と連携した外国人市民参加の防災講習会・防災訓練の実施促進	町内会等の地域や企業等の事業者と連携し、外国人市民が参加する防災講習会・防災訓練を行い、防災に対する意識や避難方法等を周知するとともに、町内会への加入を働きかけ、地域社会への参加促進を図ります。	継続	→	→	→	→	→	〈国際交流協会〉 あいち多文化防災ポケットガイドをポルトガル語、ベトナム語、スペイン語、英語、中国語で印刷し、当協会の日本語教室やイベントで希望する外国人市民に配布した。希望する町内会にも配布することとしている。	〈国際交流協会〉 継続して実施する。	危機管理課 市民協働国際課 連区長会 国際交流協会 他
58	地域に対する外国人市民の受入環境整備	町内会に対し、外国人市民の受入に対する意識啓発を促す研修会等を行います。	継続	→	→	→	→	→	町内会の防災訓練の際に「やさしい日本語出前講座」を行い、平常時・災害時問わず、外国人とのコミュニケーションに「やさしい日本語」を活用していくよう呼びかけた。 また、講座の最後に、多言語版のチラシ「町内会に入りましょう」を紹介し、外国人住民の町内会受け入れに対する意識啓発を行った。	引き続き、町内会に対して、外国人住民の受入に対する意識啓発を促す研修会等を行っていく。	市民協働国際課 連区長会 他
59 重点	地域における外国人リーダーの養成	外国人市民が多く集まる施設や団体、町内会、企業等と連携し、地域における外国人市民のキーパーソンを見つけ、地域活動等のリーダーとして養成し、外国人市民の地域社会への参加や町内会への加入促進に繋がります。	新規	実施	→	→	→	→	〈市民協働国際課〉 とよかわ外国人キーパーソンとして4か国、4名の外国人を登録した。 〈国際交流協会〉 市民協働国際課が選任したキーパーソン情報を提供してもらった。	〈市民協働国際課〉 R7年度登録した4名に加え、新たに1か国、1名の登録を目標に人材を探す。 〈国際交流協会〉 協会の事業などの情報発信に協力してもらえるか検討していく。	市民協働国際課 連区長会 国際交流協会 公共職業安定所 商工会議所 農業協同組合 他

○地域活性化の推進やグローバル化への対応【成人期】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R7年度実績	R8年度計画	関係課等
				2025	2026	2027	2028	2029			
60	インバウンドによる来訪者の増加	外国人観光客の獲得に向け、国内外の旅行会社との商談会に参加し、本市観光PRを実施します。	継続	→	→	→	→	→	4件の商談会に参加し、本市観光PRを実施した。	2件の商談会へ参加し、本市観光PRを実施予定。	観光協会
61	留学生活動支援による定住促進	大学と連携し、留学生と市内グローバル企業とのマッチングを図ることで、優秀な学生の採用による人材不足解消と定住増を促進します。グローバル企業見学の際には市内観光スポットも回ることで、本市への好感度を高め市民との交流を図ります。	新規	実施	→	→	→	→	すでに豊橋技術科学大学の留学生と連携事業の実績がある豊橋市国際交流協会にノウハウなどの相談を行った。	市内グローバル企業の留学生採用意向などを調査予定。	国際交流協会 他
62 重点	外国人市民の活躍事例の紹介	広報やホームページ、イベントなどで、身近なロールモデルとして活躍する外国人市民の事例を、市民や事業者とりわけ次世代を担う子どもたちに紹介することで目標にしようきっかけをつくります。	新規	実施	→	→	→	→	県が作成した外国人ロールモデルのパンフレットを窓口に設置した。 また、赤十字と連携して、活躍する外国人を紹介できる事業をR8年度に実施するため、打ち合わせを行った。	赤十字と連携し、市内小学5・6年生を対象に近くで活躍する外国人から話が聞ける機会を設置し、外国人児童のキャリア形成を図る。	市民協働国際課